

## 令和6年度第2回大田区再犯防止推進会議 議事録

《日時》 令和7年2月13日（木曜日）午後1時30分から3時まで  
《会場》 大田区立消費者生活センター 大集会室  
《議事》 再犯防止の基礎知識等についての講話  
（東京都「犯罪お悩みなんでも相談」事業 小林良子相談員）  
事例紹介と演習

### 《参加委員》

#### 大田区再犯防止推進会議委員

大田区保護司会	会長
大田区保護観察協会	会長
大田区自治会連合会	会長
大田区社会福祉協議会	常任理事
大田区民生委員児童委員協議会	会長
大田区青少年対策地区委員会会長会	会長
おおた社会福祉士会	会長
おおた TS ネット	代表
自立支援センターみんなの家	事務局長

#### 庁内連携部署

総務部	総務課長 人権・男女平等推進課長 経理管財課長 生活安全担当課長
地域力推進部	青少年健全育成担当課長
福祉部	福祉支援調整担当課長 子ども生活応援担当課長 高齢福祉課長 障害福祉課長 障がい者総合サポートセンター次長
健康政策部	生活衛生課長
まちづくり推進部	住宅担当課長
教育総務部	指導課統括指導主事 教育センター所長

進行：

## 1 議事要旨

(1) 大田区再犯防止推進会議委員長（大田区保護司会会長）挨拶

(2) 再犯防止の基礎知識等についての講話

講師：東京都「犯罪お悩みなんでも相談」事業 小林良子相談員

《内容》

- ・再犯防止の基礎知識
- ・犯罪をした人などの支援方法
- ・就労、住居、福祉等に関する取組

(3) 事例紹介と演習

《事例内容》

- ・親のクレジットカードで貢いだ中学生
- ・アルコール問題のある 8050 問題

《演習・意見交換》

- ・子どもが孤独をあるいは居場所がないと感じたりする。親としてどう接すべきだったのか、何ができるのかなど、考えさせられた。
- ・地域で活動している団体等でも起こっていることについて、全ては把握できない。地域の支援ネットワークをさらに構築していくべき。
- ・家庭内の問題は複雑で多岐にわたる。
- ・闇を抱えている。生きづらさを抱えながら生きているということが事例から感じ取ることができる。
- ・罪を犯してしまった人は特別な人だと捉えられてしまいがちである。地域の中でどのように受け入れていくべきか、どういった部署等でケアできるか、連携は非常に重要である。

---

事務局：大田区総務部総務課総務担当